

「水辺50選 選定方法と進め方」

永瀬克己

Concept

だれがどのように選ぶのか、

市民のイメージのなかにあり、それぞれの関わり方でイメージは異なっている。
歴史の上に現在があり、かなりのばらつきがあるが現在の判断でおこなう。100選に
なったとき、多くが含まれるであろうが消えるものも。

見えることと見えないことが存在している

条件1 ○地図上に印（まちの全体像）

Google Map・各縮尺地図・鳥瞰図・・・

条件2 ○写真集に印（目線からの像）

モノクローム・カラー・高台・斜面・地面・水中・地中・・・

条件3 ○物語に印（時間軸から考える）

歴史・民話・伝承・歌碑・・・

条件4 ○多様性（単なる水ではない）

湧水・河川・用水・宅地内・・・

条件5 ○目的性（何のための50か）

まちづくり・保存・活用・誰のために・・・[後の活動へと繋がる](#)

条件6 ○基準は（A: 視点）

景観・環境・生態系・・・

Yes-No・三段階・七段階（SD法）・%・・・

条件7 ○基準は（B：単純～詳細、評価軸）

Yes-No・三段階・七段階（SD法）・%・・・

条件8 ○基準は（C：この1枚）

コウノトリ・くにます・当たり前・今はない・年代ごとに・・・
そこしかない

条件9 ○誰の眼で（*）

*こども・魚・河童・鳥・神・・・

条件10 ○つながり（総合的視点）

かかわる・方法・トレーニング・水守へ・・・

Powers of Ten (C. Eames 1977)

進め方 ○プロセス（選びながら知る）

温故知新・未来を見つめながら・・・



Photo: K.Nagase